

# 職員インタビュー 第3回は事務長にインタビュー!!

なぜ介護の仕事を選んだのですか？

学校を卒業して事務系の職仕事を探し、縁あって福祉施設の事務職を6年半させてもらいました。事務職として介護現場に携わる中で対人援助に興味を持ち始めて今に至ります。現在も間接的な関わり方ではありますが、この仕事が長く続いているので自分には合っているのかなと思っています。

芳川の里入社の決め手となったポイントや出来事はありますか？

入職前の見学時に施設内を案内して頂いたときに、施設全体が明るく活気がありご利用者と職員が楽しそうに話されているのがとても印象的で、この施設で働きたいと思いました。

現在の仕事内容を教えてください。

事務業務は大きく分けると財務、労務、管財の3つがあります。どれも経営に欠かせない大切な仕事です。事務職員と連携をとりながら、施設が健全な状態を維持継続していくために様々な書類作成をしています。介護現場へ出張させて頂くこともあります。

趣味や楽しみにしていることはありますか？

最近ではコロナ禍の影響もあり中々機会がありませんが、旅行に出掛けるのが楽しみです。今はネットで行きたい場所をリサーチしています。



事務長 渡部 容史(45) O型 天秤座

有難うございました!

QOL(quality of life)という言葉をご存じでしょうか。日本語では【生活の質】と訳され、人生の満足度やその人らしく生きていくといった事を指します。



先日入居者のOさんから「誕生日にはかつ丼が食べたい!!」との要望がありました。Oさんは食べる事が大の楽しみなのですが、持病がある為に普段から食事には気を使われています。しかし、せっかくのお誕生日だからと、職員が主治医と相談し、念願のかつ丼を提供できることになりました。

誕生日当日、かつ丼を見た本人は大変な喜びようで、一口食べて「出汁が染み込んでいる!柔らかくて美味しい😊」と大喜び。よほど嬉しかったのか、次の日も楽しそうにお話して下さいました。

「このような食事の楽しみというのも、QOL向上の一つだと私たちは考えています。」

今回は食事を通しての取り組みでしたが、「昔は趣味で○○をしていたよ」「○○が好きだった」という様な事にもご協力していきたいと思っています。ご家族だけが知っている入居者様の人となりやエピソードがありましたら、面会の際などにお気軽にお伝えください。施設においても、その人らしく過ごしていただき、QOL向上のためのヒントにしていただければと思っています。

芳川特養 杉山祐紀

